



糖尿病教室のお知らせ

糖尿病についてよくご存じでしょうか？

糖尿病は治療しないまましていると、網膜症、腎症、神経障害の三大合併症の他、動脈硬化の進行による心筋梗塞、狭心症、脳卒中、足壊疽(えそ)などの日常生活に大きな影響を及ぼす重大な合併症をひきおこしてしまいます。

しかし、「一病息災」という言葉があるように糖尿病は自分自身ががんばれば、合併症を予防し、健康な人と変わらない生活を送ることができます。

当院では、令和元年7月から、糖尿病患者さんや病気に興味のある方を対象に、「糖尿病教室」を開催しております。

①糖尿病とは・②糖尿病の合併症・③糖尿病の治療(食事療法、運動療法、薬物療法)・④低血糖時の症状と対処法等、糖尿病につきましてわかりやすくご説明しております。是非、糖尿病教室にご参加いただき、一緒に糖尿病について考えていきましょう。

●会場:和歌浦中央病院1階多目的ホール内。

●日時:月2回14時より(変更の場合あり)、約30分程度。 ●講師:濱西徹、井畑淳子

※都合により、会場、開催日、講師が変更になる場合がございます。

あらかじめご了承ください。

参加ご希望の方は、和歌浦中央病院受付までお電話ください。

お問い合わせ先:和歌浦中央病院受付;073-444-1600

・なお、毎週火曜日・水曜日に糖尿病専門外来をしておりますので、個別に相談された方は、糖尿病専門外来の予約も受け付けております。





乳腺外科だより

今回は検診時よくご質問をいただく項目についてお話させていただきます。

●乳房MRI検査で検診してくれますか？

⇒検診としては適していないので行いません。

ただし、何か異常を指摘できるけれど、視触診・超音波検査・マンモグラフィーだけでは診断がつかない場合、追加として行うことがあります。その他、既に乳がんの診断をされた人に対し、病変の広がり診断を目的に行うのが通常です。

造影剤を使用するため、アレルギーのリスクがありますし、施行に40分程度と時間がかかり、費用も高いため、通常の検診レベルで行うべき検査ではありません。

●マンモグラフィーはどうしてあんなに乳房を圧迫するのですか？

⇒乳房を隅々までしっかり観察するためです。

条件として、組織がピンと張っている事、耐えられる最大限の圧迫であること、が求められます。乳房の引き出しが不十分だと、写真に写せず観察できないエリアができます。圧迫が不十分だと、乳腺が均等な薄さに伸びず、乳腺の重なりができてしまうため、詳細な観察ができません。

しかし、痛いのも事実です。検査中にひどい痛みが生じ、耐えられないような場合は、すぐに申し出て下さい。圧迫を調整させていただきます。

●住民検診で行われるのはマンモグラフィーだけです。

マンモグラフィー検診だけをしていれば、必ずがんを発見できるということですか？

⇒マンモグラフィーだけで100%乳がんを発見できるわけではありません。

マンモグラフィーは乳がん死亡率の減少効果が示されている良い検査法ですが、あくまで乳房診察の1検査であり、それで異常を指摘されなくても、他の検査で発見されることは多々あります。ただ、検診で超音波検査を行うことによって死亡率が減少するかどうかの科学的根拠や受診者の不利益は研究途中であるため、住民検診レベルでの実施は時期尚早とされています。

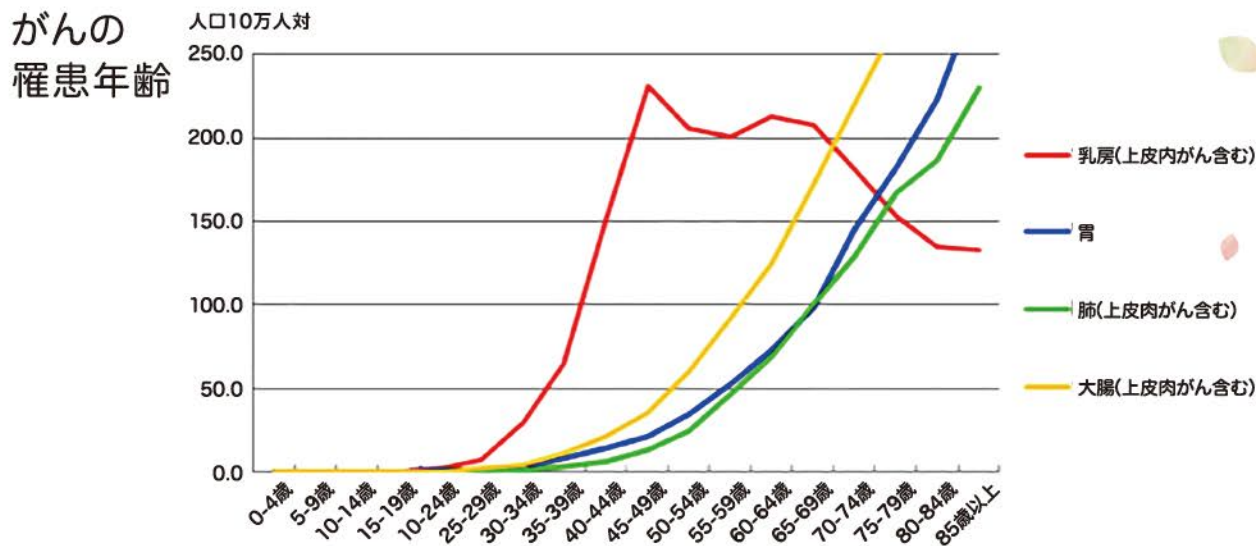
一方、検査項目を増やすことで、診断率が上がることは明らかです。当院では自費での超音波検診の追加を推奨しています。

ただし、どのような診断方法を用いても、100%乳がんを発見できるわけではなく、どの検査にも限界があることをご理解ください。



●乳がんは若い女性だけの病気ですか？私は高齢なので、もう検診を受けなくていいですか？

⇒検診は一生続けるべきと考えます。



乳がん罹患のピークは40代後半～70歳くらいにあり、他のがんと比較すると若いです。よって、「検診を熱心に受ける時期」と「適度に受ける時期」に分け、緩急をつけるべきと考えますが、高齢となってもまだまだかかる確率の高い病気であることは事実ですので、何らかの形で検診は一生続けるべきと考えます。

乳腺外科診察時間

区分		月	火	水	木	金	土
乳腺外科	午前診察(10:30～)	○	○			○	
	午後診察(13:00～)	○				○	

※基本的に予約制のため予約優先となりますが、予約外の診察も行っておりますのでお問合せください。
金曜日・午後診察もマンモグラフィー撮影が可能になりました。

受付時間 午前 8:00～11:30 午後 12:30～14:30 となっております。

検診のみでなく“乳腺疾患全般”の診察をさせていただきます。

女性スタッフのみで対応しております。どうぞ、お気軽にご相談ください。



女性
スタッフのみ!

訪問リハビリテーションのお仕事



訪問看護ステーションコスモスは、平成8年5月に和歌山市内で5番目に開設され、3名のスタッフから始まり、今では看護師8名、准看護師2名、理学療法士3名、助手1名、事務員1名の計15名と、県下でも大規模ステーションに成長することができました。

現在およそ100名の利用者様にご契約を頂き、ご自宅で療養されている方々に看護サービスを提供させて頂いております。

今回、当ステーションのリハビリ部門について紹介致します。

訪問看護ステーションコスモスの訪問リハビリテーション部門は、平成25年に発足され、現在、男性2名、女性1名の理学療法士が在籍しております。

訪問リハビリテーションとは、住み慣れた地域や自宅で生活されているところに、療法士が訪問し必要なリハビリを提供するサービスです。

対象は、介護保険要介護、要支援認定を受けている方、厚生労働大臣が認める特定疾患等の方です。

流れとしては、利用者様がケアマネージャーに相談・依頼し、主治医に訪問リハビリが必要と認められ、主治医指示書の元、サービスが開始となります。

訪問リハビリは、週に2.3回の頻度で、時間は20～40分になります。筋力の維持・強化練習、関節が固まらないように動かす機能訓練は勿論、日常動作練習として、家の中を歩くことやトイレへ移る練習、浴槽へのまたぎ練習、段差の上り下りの練習など生活に直結したリハビリを行っています。

病院と違い、日常使用している物、場所で練習をします。徐々に動作が上達すると生活に直結して出来るようになるので、利用者様・ご家族様と共に喜びを感じられます。

利用者様・ご家族様の望む生活に近づけていくために、希望を聞き、寄り添って、その人らしく安心して生活できるようにお手伝いさせていただきます。

お気軽に訪問看護ステーションコスモスまでご相談ください。

どうぞよろしくお願いいたします。



私たちが
訪問させて
いただきます!



外来診療担当医師案内

令和元年10月現在

区分	月	火	水	木	金	土	
内科	午前一診(9:00~)	※院長	※山本 秀之	※武内真知子	※太田 明廣	※濱西 徹	太田 明廣 (第2・第4)
	午前二診(9:00~)	※遠藤 仁	※井畑 淳子	※小川 洋司	※川口 素世	※院長	医大
	夜間診察(17:00~)	太田 明廣	山本 直之	濱西 徹	遠藤 仁	院長	
糖尿病専門外来	午前診察(9:00~)		井畑 淳子	※濱西 徹			
血管外科	午前診察(9:00~)		遠藤 仁	遠藤 仁	遠藤 仁	遠藤 仁	
	午後診察(13:00~)	遠藤 仁	遠藤 仁	手術日	遠藤 仁		
外科	午前診察(9:00~)	★山本 直之					
整形外科	午前診察(9:00~)	山本 剛史	山本 剛史	山本 剛史	岡田 基弘	山本 剛史	山本/西 (第1・3・5)(第2・4)
	夜間診察(17:00~)		山本 剛史				
泌尿器科	午前診察(9:00~)	吉田 利彦	吉田 利彦	吉田 利彦	吉田 利彦	吉田 利彦	吉田 利彦 (第1・第3・第5)
	夜間診察(17:00~)				吉田 利彦		
眼科	午前診察(9:00~)	臼井 恵子	臼井 恵子	臼井 恵子	住岡 孝吉	臼井 恵子	雑賀司珠也 臼井 恵子
	午後診察(14:00~)		石川 伸之 (黄斑外来)		手術日	田中 才一 ^{注①} 臼井 恵子 ^{注②}	
乳腺外科	午前診察(10:30~)	※西口 春香	※西口 春香			※西口 春香	
	午後診察(13:00~)	※西口 春香				※西口 春香	
皮膚科	午前診察(9:00~) (受付は11:00まで)				神人 正寿		医大 (第2・第4)
血液内科	午前診察(9:00~)					※医大	
神経内科	午前診察(9:00~)		※医大				
検査	胃(内視鏡)	○	○	○	○	○	
	大腸(内視鏡)		○		○		
	腹部エコー	○	○	○	○	○	
	心エコー	○		○	○ (13:00~15:00)	○	

「※」印は基本的に予約制のため、予約優先となります。「注①」印は黄斑外来。「注②」印はコンタクトレンズ外来、第3のみ義眼外来。
「★」診察時間は上記のようになっておりますが随時診察可能ですのでお気軽にご相談ください。

小児科診療受付時間

担当医師/吉益 哲【日本小児科学会専門医】



診療受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30~11:30	○	○	○	○	○	○
15:00~16:00 (予防接種(要予約))	○	○	△	○	○	△
16:30~18:30	○	○	△	○	○	△

医療法人 曙会 和歌浦中央病院

■編集発行 広報委員会 ■お問い合わせ先 総務課

〒641-0054 和歌山市塩屋6丁目2-70 TEL.073-444-1600

メールアドレス jimukyoku@wachuohp.or.jp

ホームページ

和歌浦中央病院

検索



医療法人 曙会 施設一覧

和歌浦中央病院

〒641-0054
和歌山市塩屋6丁目2番70号
電話：073（444）1600
FAX：073（441）3101

介護老人保健施設 和歌川苑

〒641-0055
和歌山市和歌川町5番44号
電話：073（446）2400
FAX：073（446）5100

訪問看護ステーション コスモス

〒641-0054
和歌山市塩屋6丁目2番70号
電話：073（448）2125
FAX：073（441）3105

居宅介護支援事業所 たんぽぽ

〒641-0054
和歌山市塩屋6丁目2番70号
電話：073（448）6022
FAX：073（448）5258

サービス付き高齢者向け住宅 あけぼの

〒641-0055
和歌山市和歌川町3番1号
電話：073（444）2800
FAX：073（444）3015



理念 基本方針

地域の皆様から「親しまれ、信頼され、選んでいただける法人」を目指します。

- ・私たちは、患者さま利用者さまの立場に立ち、良質で安全な医療・介護・福祉の提供に努めます。
- ・私たちは、患者さま利用者さまの権利を尊重し、満足と納得いただける医療・介護・福祉の向上に貢献します。
- ・私たちは、地域の医療機関・介護福祉施設と連携し、地域住民皆さまの健康・福祉の向上に貢献いたします。
- ・私たちは、医療人・介護人・福祉人としての責任と自覚をもち、常に研鑽に励み、資質の向上に努めます。
- ・私たちは、和の心を大切に、一致協力して、安定した経営基盤を持つ、働きがいと誇りのもてる法人をめざします。